

公開試験について

2023年2月14日



株式会社 NHKテクノロジーズ



1 公開試験 概要

[目的]

臨時災害放送局において、放送大学FM跡地の周波数を複数の隣接する自治体が同時に使用し運用する場合の効率な開設・運用手法について、実フィールドにて公開試験を行い、技術検討の状況を検証する。

[実施時期]

令和5年2月28日(火) 午前10時～12時

[場所]

足立区 生涯学習センター(東京都足立区千住5-13-5)

[実施内容]

- 調査検討内容の説明
- 本調査で実施する特長的な試験のデモ
 - ① 情報伝達に必要な受信評価(受信評価3相当を実聴、意見徴収)
 - ② 1局のみが送信する場合、受信評価3を満足する電界強度
 - ③ 2局が送信する場合、希望波の受信評価3を満足するD/U
 - ④ シミュレーションサンプル:所要電界強度60dB μ Vの2局間フリンジ距離
 - ⑤ タイムシェア運用の実演

2 試験デモの概要

- ① 情報伝達に必要な受信評価(受信評価3相当を実聴、意見徴収)
 - (1) 音声品質と受信評価の確認
 - (2) ステレオとモノラルの間こえ方の確認
- ② 1局のみが送信する場合、受信評価3を満足する電界強度
 - (1) 電界強度の変化による受信評価の変化(送信電力を変化させる)
 - (2) 受信機による違い
- ③ 2局が送信する場合、希望波の受信評価3を満足するD/U
 - (1) D/Uの変化による受信状況変化(それぞれの局の送信電力を変化させる)
 - (2) 受信機による違い
- ④ シミュレーションサンプル:所要電界強度 $60\text{dB}\mu\text{V}$ の2局間フリンジ距離
 - (1) 2局間で所要D/Uを満足する場合のフリンジ間の距離シミュレーション
- ⑤ タイムシェア運用の実演

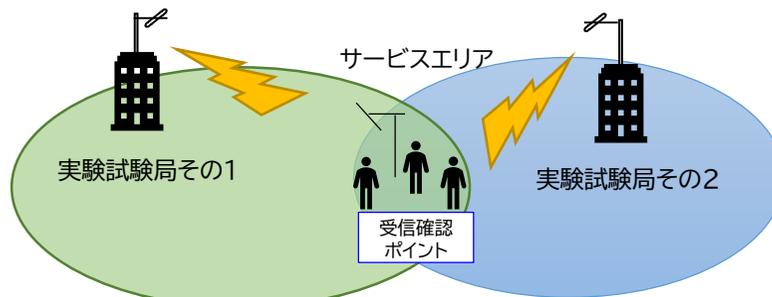


図. 実験試験局の送信イメージ



図. フィールドでの受信確認イメージ

3 実施場所について

- 複数の自治体間で放送区域が重なる場所(混信が発生するポイント)を想定
- 電波伝搬試験の結果を踏まえ、特長や傾向を確認できる地点で試験

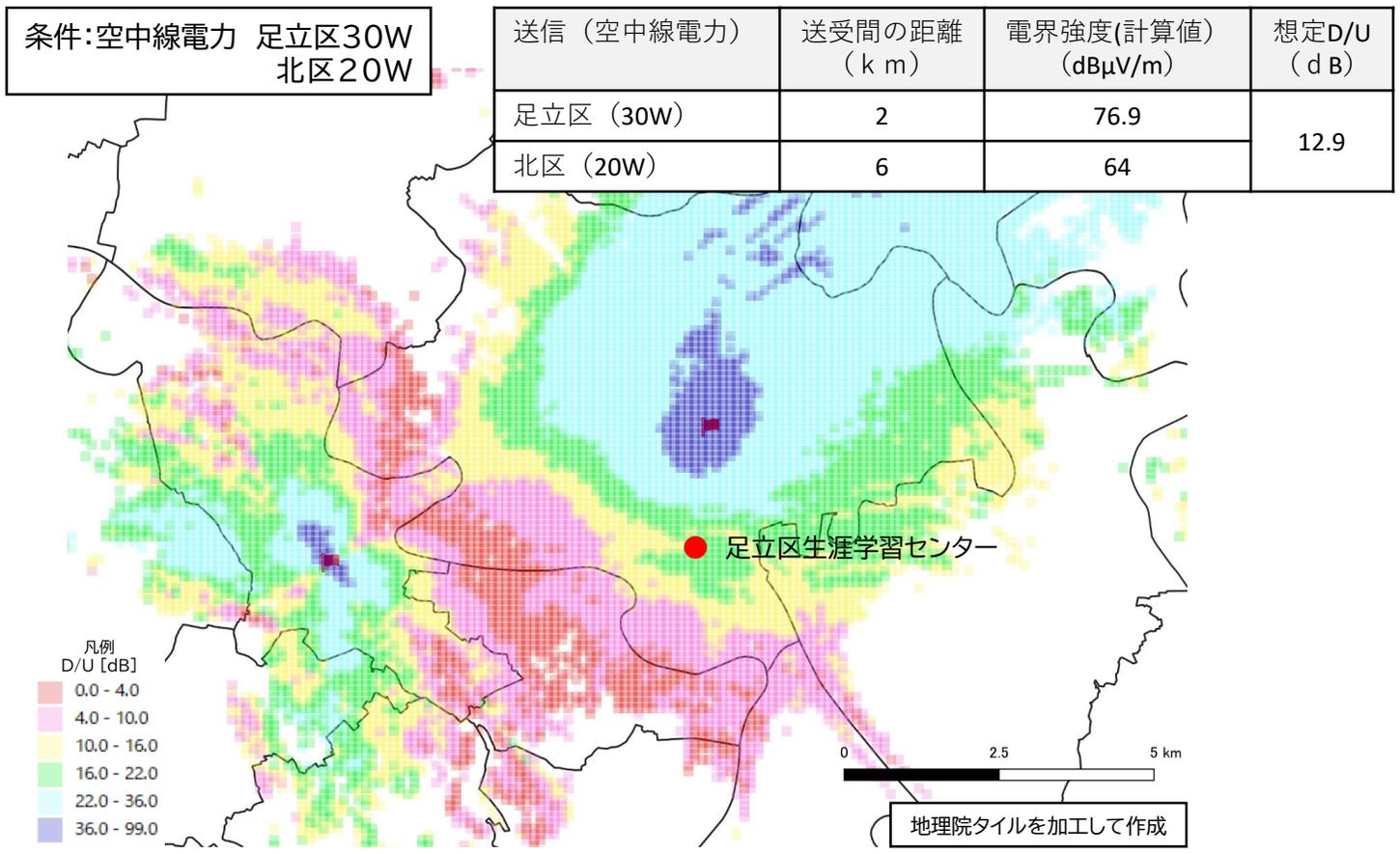


図. 足立区と北区から送信時のD/U分布図

4 タイムスケジュール

時間	内容
10:00	集合(足立区生涯学習センター)
10:00~10:15	・試験概要説明
10:20~11:20	① 情報伝達に必要な受信評価(受信評価3相当を実聴、意見徴収) ② 1局のみが送信する場合、受信評価3を満足する電界強度 ③ 2局が送信する場合、希望波の受信評価3を満足するD/U ④ シミュレーションサンプル:所要電界強度60dB μ Vの2局間フリンジ距離 ⑤ タイムシェア運用の実演
11:30~12:00	質疑
12:00	解散

※時間・内容の詳細については変更の可能性がございます。

